会 議 録

会議の名称	第7回（仮称）研究学園小学校、研究学園中学校 開校準備委員会		
開催日時	令和4年4月21日（木） 開会 18：30 閉会 20：00		
開催場所	つくば市役所 4階 ミーティング室		
事務局（担当課）	教育局 学務課		
出席者	委員	稲川綾子、菅典子、橋本恭子、小泉悠、鈴木夕紀子、 相澤健太郎、野尻敏弘、富岡暁子、楨幸子、石黒正美、 中原卓治、澤木勉、松延亮一	
	事務局	教育施設課長鈴木聡、学び推進課指導主事永岡範之 学び推進課指導主事横山賢裕、学務課課長下田裕久 学務課課長補佐川又文江、学務課係長中山美希 学務課主任篠原周平、学務課主事霜鳥壮彦	
公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	1人
非公開の場合はその理由			
議題	(1) 校章デザインについて (2) 制服・体操服について		
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開 会 2 議 事 (1) 校章デザインについて (2) 制服・体操服について 3 その他 4 閉 会		

＜審議内容＞

1 開会

2 議事

事務局：ただ今から第7回（仮称）研究学園小学校、中学校開校準備委員会を開催いたします。事務局からお願いとなりますが、本日は、オンライン会議システムのZoomを使用しておりますため、会議中は、カメラをオン、マイクはミュートに設定いただきますようお願いいたします。また、ご発言いただく際には、ミュートを解除いただき、お名前を仰っていただきながら、ご発言をお願いいたします。それでは、これより議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、委員長をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

委員長：それでは、会議の進行をさせていただきます。事務局へ確認となりますが、本日は傍聴の方はいらっしゃいますか。

事務局：本日、傍聴人はおりません。

委員長：傍聴者はいらっしゃらないようですので、議事に入りたいと思います。本日の議事は、校章デザインについて、制服・体操服について、以上の2点になります。それでは、議事に入ります。まず、配付している資料について、事務局よりそれぞれ説明をいただきたいと思います。

事務局：事務局です。児童生徒から682件の回答、保護者から600件の回答をいただきました。一番上のデザインが、児童生徒、保護者どちらからも一番票を集めたものになります。モチーフは、市の鳥であるフクロウ、筑波山をかたどったフレーム、研究学園の桜、水色と白のライン6本が小学校の学年、水色と白のライン3本が中学校の学年を表しております。

こちらのアンケート結果を受けて、校章デザインの決定をお願いいたします。

委員長：アンケート票数も多く、愛着持っていただけるデザインになったのかと思います。アンケート結果について何かありますでしょうか。ないよう

でしたら結果を受けて、1つに決めてデザインの補正意見等あれば議論したいんですが。普通にみれば、1位でいいと思いますが、そのあたりの意見を委員から伺いたいんですが。どうでしょうか。お願いします。

委員：1位のデザインが、躍動感があって、フレームの形も独特でユニーク。そういった点で気に入ったのだと思います。あとはEとJをどれくらい理解してもらえるかの懸念はあります。

委員長：はい、お願いします。

委員：1位でいいと思います。EとJ、Eは筋が6本、Jは3本など、通じないことはないと思います。

委員長：学校側の意見としてはどうでしょうか。

委員：一番上が筑波山の形なんですかね。それで、市の鳥のフクロウもね、かっこよくデザインされていて、研究学園も入っていて、とてもいいものだと思います。はい。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。他、皆様いかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：はい。私もやっぱり人数も多いですし、皆さんの票数も多いので、1でいいと思います。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。他、皆様いかがでしょうか。大丈夫ですかね。基本的には委員会としても、一番で決めていくということにさせていただければと思います。あと、もう少しブレイクダウンといますか、細かいところをどうするのか。先ほどもありましたけども、EとかJとかでいいのか。単純に小とか中という感じでもいいのかもしれないですけども、その辺をお話できればなと思うんですけども、あとはデザインも基本的に全くこのままなのか、もしくはデザイナーの方にですね、これが選ばれたとご報告するとともに、もう少しブラッシュアップする余地があるのであれば、してもらおうとかですね、色使い、真っ白のところを少しカラー

を入れてもらうとかですね、いろいろあるのかなと思うんですけど、その辺お気づきの点があればご意見いただければと思うんですけども、いかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：委員長が言ったように、白いところとかがちょっと多すぎるのかなって思っていて、学森のエンブレム、校章を見ると、金の刺繍が入っていてそれがとても綺麗だなって思っているんで、一番の周りとか、あとは、タイトルの研究学園っていうところとかに金の刺繍とかを、入れて補正してもらったらいいんじゃないかなって思っています。以上です。

委員長：ありがとうございます。他、皆様いかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：はい。お疲れ様です。私も、学森も結構シルバーが入っていてとても綺麗なので、シルバーで縁取ってみたり、白を少なくする形の方が校章らしいかなと思います。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。お願いします。

委員：私もデザイナーさんに再度、これ、データでもらってるわけじゃないので色指定が多分できないんじゃないかなと思うので、デザイナーさんに色指定の部分も含めて見ていただいた方が、後々使いやすいんじゃないかなっていう気がします。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。この辺で学校側のデザイン加工のところとかでご意見あればと思うんですけど、どうでしょうか。

委員：はい。皆さんすばらしいご意見を言うてくださって、その通りだなと思っているところです。私がデザイナーさん、せっかく素晴らしいものを考えてくれたので、たくさん注文しちゃっていいのかなという心配があるんですが、よろしければ皆さんの意見をお伝えできればいいなとは思っています。

委員長：ありがとうございます。他、皆様どうでしょうか。いろいろお願いすることになりますけども、可能な範囲でっていう条件つきでお願いすると

と思いますが、要望としてお伝えするのがいいのかなと思うので、どうでしょうか。大体、修正加工するんであれば、少しカラー入れてもらって綺麗な、ゴージャスなっていうような感じですかね。事務局の方からですね、デザイナーの方、多分保護者側の方だったと思いますけれども、この案を選んでいただいたといったところと、あとはもう少し色を入れてですね、仕上げていっていただくというようなところで、ご相談をしていただければなというところと、あとこれは、実際にこの作ってもらったデザインの著作権みたいなのは市役所もしくは学校とかに最終的には来るんですかね。その辺の著作権のところとかデザイナーの方としっかりやりとりをして、今後いろんなことにならないように配慮してもらいたいなといったところと、あと、このデザインの内容について、フクロウのデザインとかありますけども、いろんなところに抵触しないかどうか、その辺のチェックとかですね。事務局の方にさせていただいて、その辺で各種問題がないことが確認できたらですね、最終的に確定というような形で作り替えとか、そっちの方に図っていくのかと思いますけども、その辺をしっかり対応をお願いしたいと思ってますけども、事務局の方はその辺、よろしいでしょうか。

事務局：委員長、ありがとうございます。まず著作権の部分、デザイナーさんとしっかり進めさせていただきます。あと、デザインが意匠権ですとか、そういったところに抵触してるかというところはこちらの方で確認をさせていただきます。先ほど、このデザインの微修正というところでいうと委員の方から、このエンブレムの形の外枠の部分と、研究学園と書いてある部分に金の刺繍というようなイメージでという意見があったんですけども、そういったデザインの補正を、デザイナーさんをお願いするということでよろしかったでしょうか。

委員長：はい、要望としてはそれでいいかなと思いますけども、その辺はデザイナーさんに、ほぼ一任するような形でですね、別途、いいアイデアが

あればですね、ぜひ採用していただきたいですし、その辺は相談していただければなと思っています。

事務局：はい、かしこまりました。では、そのような形で、デザイナーさんとコミュニケーションを取って、お願いしたいと思っております。以上です。

委員長：この議題は一番のデザインで決めて、微修正してもらおうということで、皆さん了解だということによろしいですかね。はい。これで決定ということにしたいと思います。ありがとうございます。続きまして議題2の方に入っていければと思いますけども、制服・体操服のアンケートということだと思いますけども、こちらの件につきまして、事務局の方からご説明をお願いしてよろしいでしょうか。

事務局：はい、事務局です。では、お手元の方に資料2と書かれましたものをご用意いただければと思います。こちらの方は、前回からご協議いただいております、制服・体操服のアンケートの実施概要と、今後のスケジュールをまとめさせていただいております。こちらの回答対象につきましては前回も説明の通り、1家庭1回という形でアンケートの方を実施したいと思っております。また回答期間につきましては、こちらも土日を挟むような形でですね、来週の26日火曜日から5月2日の月曜日を設定させていただいております。回答方法もですね、今回の校章デザインのアンケートと同様に、オンラインでの回答というところを想定しております。また通知方法なんですけれども、こちらも前回の校章デザインのアンケートと同様にですね、学校から保護者宛の通知文の方をお渡しさせていただくのと同時に、緊急メール、スクリレでの配信の方をお願いさせていただきたいと思っております。今後のスケジュールのところなんですけれども、今回、アンケートのところを決めていただきまして、来週からアンケートの実施という形になります。また、ゴールデンウィーク後になりますけれども、そこでアンケートの結果を踏まえて、作成方法の決定、またメーカーをどのよ

うに選定していくのか、というところをご決定いただきたいと思っております。その後はですね、学園の森ですとか、みどりのの事例を踏まえまして、メーカーさんをお呼んだコンペというものを実施して、メーカーを決定をしていって、そのあとに具体的な制服・体操服の作成の過程に入っていくというようなスケジュールになっております。資料2の別紙につきまして、説明させていただきます。こちらの方が、制服・体操服アンケートの設問項目の素案になっております。今画面の方で、資料を基にGoogleフォームの方で先行的にデモバージョンという形で作らせていただいております。こちらの標題のところになりますけれども、こちらの方に米印になりますけれども、新設校、開校後の学園の森義務教育学校の制服・体操服の取り扱いというところを冒頭の方に記載しまして、こちらを踏まえて、回答していただくような形となっております。はい。この後メールアドレスを入力していただきまして、次へという形になります。ここは資料2別紙でいう1ページ目のところになります。回答者の情報というところで、保護者の氏名の方、入力していただきます。お子様が複数いらっしゃれば、該当する学年のところを選んでいただくような形になっています。住所を選択してくださいというところで、該当する住所の方を選択していただきます。そこで今画面表示してるところがですね、資料で言います2ページ目一番上の問1というところになります。こちらの方が新設中学校の制服について、すべて指定がいいですか、それとも一部指定がいいですか、というところを聞く設問になっております。仮にこの一部指定がいいというところを選択したとして、今、米印でですね、ブレザー上着は指定としますとあるんですけれども、こちらは前回校長先生の方からも、制服を作るにあたって、ブレザー・ジャケットの部分は、共通としたものがあるだろうというご意見を踏まえさせていただいて、ここの一部指定としてのブレザーは基本的には指定しますと書かせていただきます。また指定とあるん

ですけれども、基本的には新設校の新しい制服を新たに新調するといったところを想定しております。これで次へと進みますと、このブレザー以外の部分で一部指定とするならば、どちらを指定するのを希望しますか、というところのチェックボックスを作らせております。こちらは複数選択可となっております、選択していただいて次へという形になります。こちらの方に、資料上で言います問3の部分ですね、一部指定がいいと、回答する理由というところが自由記入という形になりますので、記入していただくスペースを設けております。それで次へと行きますと、こちらの方で問4のところですね、新設中学校の制服について、重視することは何ですかという設問をつけさせていただいております。制服の設問項目、設計はこのようになっております。これで次へと行きますと、今度は資料上の3ページ目のですね、体操服に関するアンケートというところになります。こちらの指定と同様に、初めの設問のところ、すべて指定がいいですか、また、一部指定がいいですか、と記載させていただいております。一応米印で長袖・長ズボン指定としますと書かせていただいているんですけども、このアンケートを素案を作成するにあたって、学校側の方にもご意見をヒアリングをさせていただいて、長袖・長ズボン、ジャージのところは指定とした方がよろしいというようなご意見もいただいておりますので、こういった形で記載させていただいております。これでまた一つ選んでいただいて、次へと行きますと、こちらも制服と似たような画面推移になります。一部指定する部分として、どこを指定するのがいいですかというところがございます。これを選んでいただくと、資料上で言う問3のところですね、一部指定が良いと回答された理由をご記入くださいと、自由記述という形で、記載していただくような形になります。こちら最後の方、問4になりますけれども、小中学校の体操服について、最も重視することは何ですかという形で、作らせていただいております。資料2別紙と、Google

フォームのところのご説明は以上とさせていただきます。

委員長：各種調整と資料作成ありがとうございます。このアンケートのところはですね、中々意見が分かれるところで、非常に難しいかなと思うんですけど、今の説明に対して質問とか、気になった点があれば、ご発言いただければと思いますが、皆様いかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：そのアンケートの話になる前に、学森の実情をお知らせしようかと思えます。お恥ずかしいところなんですけど私もよく知らなかった部分があったもんですから、今の学森はブレザーはもちろん指定なんですけど、ズボン、スカートは、一部指定になってます。指定品もしくは基準に沿って、各自用意する。例えば、ズボンは指定品またはグレーで無地ズボンは着用可。スカートは、指定品もしくはグレーの無地スカートは着用可と。はい、そのようなふうになっております。はい。以上です。

委員長：はい。ありがとうございます。私もそれ全然知らなかったんですけども、何かに書いてあるんですか。

委員：はい。6年生から7年生に上がる時の説明資料に書いてあります。あとですね、もう少し細かく言うと、シャツも指定品、青いシャツがあるんですけど、そちらは式典とかには、その青いシャツなんですけど、普段は白無地のシャツであれば、何でもOKと。あと、夏の半袖シャツ。これも白無地のワイシャツ、白無地のポロシャツであれば、オッケーというような規定になっております。以上です。

委員長：ありがとうございました。今の点も踏まえて、何かご意見とかご質問あればと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：今、お伺いしたことについて、春日と一緒にだと思ったんです。青いシャツは、式典のときに着る青いチェックのシャツですかね。あと夏は半袖の白無地かポロシャツでいいということで、保護者としてはとてもありが

たかったです。ちょうど成長期で、1年着たら次の年は着れないっていう、実情がありましたので、結構自由に選べる形だなと思って、今回学森はすべて新調したと伺っていたので、全部買わないといけなかったのかなって思っていたので、今の実情を聞きまして、元保護者としては、とても好感が持てるなと思いました。以上です。

委員長：はい、ありがとうございました。今の学森だと、すべて指定というものを作りつつ、一部指定みたいな運用になっているということなので、今のアンケートで言えば、二つの回答の間みたいなのところもあるのかなっていうふうにお見受けしましたけども、その辺も踏まえてアンケートを少し見直す余地があるのであれば、ご意見いただければなと思いますけども、いかがでしょうか。はい、お願いします。

委員：価格のところ、事務局にお伺いしたいんですけども、委員で話をした時には価格を入れた方がいいんじゃないかなっていう話もあったんですけども、事務局のアンケート拝見しますと、価格は抜いています。何か理由があったら教えてください。

事務局：はい、事務局です。学園の森の制服を作ってらっしゃるメーカーさんの方にも、その価格帯のところを聞いてみまして、今の学園の森でいうと、すべて一式買い揃えると大体6万円というところで、こちらで大体標準的な価格だそうで、ここから下げられる余地といいますか、制服としての必要な機能を踏まえた最低限の価格のところを聞いたところ、下げられても数千円程度というところで、万単位で下げたものを制服として販売というところは、ちょっと難しいというご意見をいただきまして、そうすると学園の森のこの6万円というところが基準であって、そこからの下げ幅っていうところがあまりないといいますか、ある程度制服の金額というのはある程度決まってくるというところもありますので、こういった形にさせていただきます。

委員：わかりました。で、まず一番最初に、私服を検討した時に、私服が駄目な理由っていうところで、各ご家庭の経済力が見えてしまう。貧富の差が見えてしまう毎日同じ服を着てしまう子が出てくるからっていうお話だったと思うんですね。なので、制服の方がいいよねっていうことはそういうご家庭もきちんと買える値段であるべきなんじゃないかなと思うんですけども、やはりその値段が、そもそもの値段がそういう家庭に対して負担になってしまうような価格設定になってるんじゃないかなっていうのが、まず気になります。もう一つ、制服の値段について、総務省の統計局が小売物価統計調査っていうのを毎月やってるんですけどもそこに女子中学生の女子用の学生制服が一着、全国平均が大体3万5,000円って出たんですけども、例えばすべての家庭に購入を義務付けるのであれば、何か根拠のある数字をもって、全家庭に義務づけるならまだわかるんですけども、おしやれにしたい、こういう機能もつけたいっていう結果、こういう値段になりましたっていうのは、なかなかちょっと、買えないご家庭に対して、難しいんじゃないかなっていう感じがします。私の方は以上です。

委員長：はい、ありがとうございました。そういうご家庭の皆様も当然いるのは多分皆さん重々把握しているんですが、多分、補助金みたいなものもあると思うので、そういったところも周知しながらですね、もしフルセット買うような方針に決まった場合は周知してですね、ご理解していただくしかないのかなというふうに個人的には思っております。もし、事務局の方々そういった仕組みとかあればですね皆様への周知を含めて少し紹介いただければと思いますが、いかがでしょうか。

事務局：事務局です。つくば市の方では就学援助制度というものを設けておまして、こちらの方は経済的な負担を軽減するために、新入学の方の学用品ですとか、通学用品費ですとか、あと体操服の費用ですとか、そういったところを援助する制度がございますので、こちらの方を申請していただ

いて、そんなところをフォローさせていただく、ケアさせていただくというような仕組みがございます。

委員長：はい、ありがとうございます。はい、お願いします。

委員：就学援助の仕組みがあるのはわかったんですけど、それってちゃんとカバーされてるんですか。必要とされる方に、ちゃんと行き渡ってるんでしょうか。行き渡ってないんだったらそれがありますといったところに意味がないような気がするんですけど。

事務局：事務局です。こちらの就学援助制度のお知らせにつきましては毎年の4月の始業式入学式の時に、各家庭の方に、学校の方から周知をさせていただいております。またホームページの方でもですね、周知の方させていただいている状況でございます。

委員：いやだから、その周知してるかどうかじゃなくて、必要としている人にその援助が行き届いてますかっていう話をしているんです。意味が違いますよね。みんなに伝えてますってこととちゃんと必要としている人に援助が届いてますっていうのは違うことだと思います。

事務局：はい。事務局です。申請いただいた方につきましては新入学学用品費というところですね、そちらの方をお支払いをさせていただいているという現状がございます。

委員長：おそらく、あくまで申請は希望者が自分でやらないといけないので、そこはもうそういう仕組みなのは仕方がないのかな。多分そこに所得制限とかがあるので、おそらくそこに引かからないと受け入れないと思うんですけどそこはルールがあるので、皆様にまずお知らせして、該当した人は、その人に動いてもらうしかないと思いますので、我々としても周知をうまくするところを支援するしかないのかなと思うんですが、どうでしょうか。

委員：周知するのは当然だと思うんです。でも、周知しても、そもそもそれを

必要とする人はたくさんいるのに、所得制限とか制限が厳しくて実は申請したいと思っけていても、申請できないって条件の人はあらかじめはじかれてますよね。その人たちもいる可能性を考えて、価格っていうものにもうちよつとセンシティブである必要があるんじゃないかと私は思うんです。なので、必要とする人にちゃんと行き渡ってるんですかっていう質問はそういう意図で聞けるんです。

委員長：今の仕組みでの応募者がどのくらいいて、実際に支給している方がどれくらいいるかを事務局でわかればですね、教えていただければ、その辺踏まえて見直されてると思うので、実態には合ってくるんじゃないかなという淡い期待は、我々はしますけども、もしわかるのであれば事務局、多分今日の回答は難しいと思うので、次回にでも教えていただければと思いますけども、どうでしょうか。

事務局：事務局です。令和3年度の実績で言いますと、1,700名前後の方にこの就学援助の方、制度の方を適用させていただいて、申請をいただきましたら、所得状況をこちらの方で精査をさせていただいて、認定、否認定という形の方を取らせていただいて、昨年度は1,700名以上の方を認定・支援をさせていただいております。

委員長：はい、お願いします。

委員：はい。そのご案内が来ているのは、知っていたんですけど、そこには所得制限のことって書いてなかったんですけど、実際に所得制限っていうのは毎年見直されているものなんですか。それとも、ある程度決まっているものなんですか。お願いします。

事務局：事務局です。お配りさせていただいているお知らせの方には、ある程度の認定基準額、目安のところですね、お2人世帯でしたらこういった所得であれば、申請が通りますとか、目安の金額のところは書かせていただいております。

委員：そうだったんですか。すいません、見落としていました。失礼しました。
ちなみに幾らなんですか。

事務局：細かい数字は申し上げられないんですけども、やはり世帯の人数ですとか、年齢、金額のところは変わってきますので、お知らせの方に記載している金額のところ、右の基準額のところは、あくまで目安として記載をさせていただきます。

委員長：はい、お願いします。

委員：さっきの話を聞くと 1,300 人ぐらいを手を挙げてきて、実際にもらったのは 700 人っていうことはざっくり半分ぐらいは断られるっていうことですか。

事務局：申請の総数自体はちょっと今把握してない、今手元がないんですけども、実際に認定をした方、実際に支給をさせていただいた方は、昨年度に 1,700 人ほどいらっしゃいます。

委員：申請の母数はわからないってことですね。わかりました。わからないなら、それはそれでいいです。ありがとうございます。

委員長：つくば市のホームページの中にですね、今見ると、就学援助制度っていうサイトがあって、ここに認定基準額っていうのがあって世帯人数ごとの所得額っていうのが出てますので、例えば世帯人数が 2 人だと所得額が 252 万というホームページが書いてるので、皆様も、これが妥当な金額かはわからないんですけども、その辺見ていただきながらですね、また、ご意見とかあれば、考えておいていただければなと思ったところですが、この辺はこの委員会の中で決めれることでもないのですね、その辺は飲み込んでいただいた上でいくしかないと思うので、この議論はもうこの辺でクローズさせてもらいたいなと思っています。いずれにせよやっぱり意向を把握しないことには、もう、これ以上なかなか議論できないなっていう部分もあるので、今日はやっぱりアンケートの内容を決めてですね、次の

ステップに行くためのアンケートはもう実行させていただければと思いますので、それとアンケートの設問の中身の部分、もう少し追加した方がいいとか、聞き方のこういうところを注意した方がいいとかですね、補足説明等の方にそういったご意見いただければと思いますが。はい、お願いします。

委員：はい。アンケートの設問を眺めていて、簡単に気になったところが三つあったんですけども、問2の一部指定を選ばせておいてからの、なしというチェックボックスあるんですけど、これは何なのかなっていうのが一つ。あと、これは細かいところなんですけど、制服と体操服で、問4と見比べると、制服の方は、動きやすさ・着心地ってなっていて、体操服の方は、着心地だけになっていて、何かこれ考えられてこうしてるのかなっていうところと、あともう一つは、一番最後の括弧書きで、現行の体操服・制服の取り扱いっていうところで、引き続き使用できますと。切り替え時期は特段定めませんというふうに、書いてある部分を読んだときに、これは結局、変えなくてもいいっていうふうに、受けとめる人がいるのかなと思って、ここら辺もうちょっと明確に書いたほうがいいというか、明確にどうしようとしてるのかってのは私も把握できてないんですけど、そこら辺が気になります。

委員長：はい。今の質問に対して事務局からお考えとか、よろしいですか。

事務局：はい、事務局です。まず問2番のところで、一部指定のところで、スラックス、スカート、シャツ、ネクタイ、リボン、なしという部分はですね、ブレザー、上着以外は特段指定は求めませんと、希望しませんといったところの意味合いでつけさせていただいております。制服の問4と体操服の問4で、3つ目の動きやすさ・着心地というところで、体操服の方は動きやすさというところがなくなってるんですけども、体操服は元々、動きやすいのが大前提というのがありまして、動きやすさというところはも

ちろんある機能だろうというところで、なくしております。また、最後のところの継続着用の部分ですね。ここの文言のところは、今後も修正が必要かなと思っております。一旦事務局の方でもその部分の見直しを図っていきまして、こちらの方はまだ資料としてお出ししてないんですけども、今回、学校から保護者さんにアンケートをしますというところを通知する際の文章の案になっております。一番下のところにですね、こちらは今、保護者の方からご意見いただきたいんですけども、一番下のところですね、新しい制服・体操服の切り替え時期は各家庭でご判断していただいて、必要に応じて新しいものに切り換えていただきたいと考えています、というような形で一部修正をさせていただいております。こういった文言でよければ、アンケートの方の回答フォームに記載する内容も修正させていただきたいと考えております。以上でよろしいでしょうか。

委員：まず前の二つはわかりました。三つ目も、これまでも議論があったと思うんですけど、そこら辺も踏まえて、皆さんで話し合うのかなと思ってるんですけど、個人的には先ほどの文章ですね、必要に応じて、各家庭の判断で継続使用しっ放しっていうのを認めるっていうのは、私は賛成する方です。はい。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。基本的に今のただし書きのところはですね、春日から学森に移行する時もそういうやり方にしてるんですね。同じようなやり方にすることで、前回の時も概ねその方がいいんじゃないかっていうような意見多かったのかなと思ってはいますが、改めて皆様いかがでしょうか。ここはあえて意向は聞かずに、これでお知らせするという形になるかと思いますが、いかがでしょうか。書き方はよろしいですかね。では、これはこの形でと思います。その他、アンケートの設問、聞き方とか何かお気づきの点とかあれば、お願いできますでしょうか。はい、お願いします。

委員：はい。数点あって、さっきの継続着用の話は先に持ってきた方が、答えやすいかなと思いました。全部答えちゃってから、実は続けて使ってくれていいんだよ、みたいなことを言われるよりは、先に書いてあった方がわかるんじゃないかなって感じがいたします。それと、体操服・制服共通してることなんですけれど、問3、いただいている紙資料ですとすべて指定が良いの場合も理由を聞いてますけれど、先ほど画面で見せていただいたところでは消えていたのはどうしてでしょうか。

事務局：先ほどの画面遷移のところでは一部指定のみのところの次への画面だけお見せしていたんですけれども、すべて指定がいいというパターンも、そのあとの設問で問3の方に飛びまして、そこを自由記述で回答していただいた上で進んでもらうことになっております。

委員：どのみちは聞いてもらえるってことですね。はい、わかりました。その点は大丈夫です。体操服について2点ほどあって、長ズボンと長袖は指定としますっていうところなんですけれど、それはそれで要請があるならばいいと思うんですけれど、理由は書いた方が、保護者としては納得性が高いかなと思います。制服の方はブレザー以外は指定しないっていう選択肢が用意されているにもかかわらず、体操服の問2のところでは、長袖・長ズボン以外は指定しないっていう選択肢がないのはどうしてでしょうか。

事務局：事務局です。この長袖・長ズボンのところはですね、このアンケートを作る段階で学校さんの方にもご意見を伺いまして、こんな形にさせていただいたんですけれども、学校さんの方からこちらの件について、何かご意見いただけますでしょうか。

委員：長袖・長ズボンについては、学校の方としては、やはり指定ということで、お願いをしたいなというところなんです。というのも、学校生活の中で子供たちが当然着用するのは、これはもちろんのことなんですけれども、い

ろんな場面で校外に出たり、校外学習とか、後期課程であれば、大会、総体等で外に出ることがあります。そういった中で、やはり子供たちの管理の部分になるんですけども、やはり一目で本校の子供たちっていうのが、これは、子供たち自身もそうですし、引率する教員も、これはきちんと把握する必要があるという部分で、これが例えば長袖・長ズボンがそれぞれ、ある程度自由とすると把握がなかなか難しいというところも、あるのは正直なところですよ。それから、先ほども話がありましたけども、長袖・長ズボンが自由ってなった時に、やはり価格の部分で、ある程度差が目に見えてしまうっていうところも、やはりそれをある程度指定にすることで、抑えられるかなっていうところも考えています。ですので、長袖・長ズボンについては、極力、指定でお願いしたいなというところは本音です。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。はい、お願いします。

委員：はい。長袖・長ズボンについて私は、学森では必要なければ買わなくてもいいものっていう認識でおりまして、家では長ズボンは必要ないと思って、購入していません。当初、入学した当時は長袖も必要ないと思っていて、運動会のときは、上にカーディガンを羽織らせて競技のときは脱いでねって言って、そういう対応もしてたんですね。なので、特に小学生だったらそれぐらい何かこう緩やかさ、柔軟さっていうのがあってもいいんじゃないかなと思うんですけども、その辺は、どのようにお考えになりますでしょうか。

委員長：はい、ありがとうございます。学校側で何か規約みたいなものとかはどういうふうにされてるかどうか、もしあれば、ご紹介いただけませんか。

委員：はい。確認していますので、お時間いただけますでしょうか。

委員長：はい、わかりました。そうですね。今までアンケートとかの質問は聞いていて、制服に対するアンケートは概ねいいのかなと思ったんですけど

も、体操着のアンケートとかなんか、一部指定のところでは何か半ズボンと半袖だけの選択肢もどうかなってところは私も思ったので、例えば、体操着のアンケートはですね、問2は削除して、すべて指定、一部指定、括弧長袖・長ズボンくらいの2択でも、同じ結果なのかなと思ったところなので、そんな修正はありなのかなと思ったところです。あとどうしますかね。制服のアンケートとかもそうですけど、さっきの学森についておっしゃったように、すべて指定の制服は作るものの、ズボンとかそういったところは選べるみたいなのところの選択肢を、今のすべて指定と一部指定の間に何か少し、すべて指定のものを作るけど、自由みたいな部分の回答を設けるか、アンケートはこのままでいい、どちらか、一部指定っていう回答が多かった場合も、全部は作るけど、選べるっていうふうに我々の委員の中で結論を出すのか、その辺ご意見いただければなと思いますけど、皆さんどうでしょうか。先にはい、お願いします。

委員：今のご質問と別で、先ほどの確認なんですけれども、学校としての規約がどうなってるかという部分なんですけど、この体操服についてという部分については、指定品着用となるものという形で、体操服は指定品と、前の学校の体操服も可という形になっています。冬季においてなんですけど寒い時ですね、授業中のみ体温調整のため、上着を脱ぐなどしてセーターやカーディガンのまま授業を受けても良いと書いています。ただ、実際その体育の時に、セーターそれからカーディガンっていうことは、特には明記はしていません。当然運動に適した服装でっていうことは、学校の方で指導しているところです。以上です。

委員長：ありがとうございました。基本的には指定ですけども、もちろん体調とかに応じて柔軟に運用するというような規約ということですかね。はい、わかりました。ありがとうございます。今の点、もしくは先ほど私の方で、アンケートで間にもう1個設問を設けることについて、何か意見あればと

思いますけども、どうでしょうか。特になければ、制服のアンケートはすべて指定と一部指定の2択で、事務局の案から聞いていく形でもよろしいですかね。そうですね最小限のところは、さっき私から言いましたけども、何か、問2のところはあんまり、聞く意味が、メリットがなさそうなのか、問1と問2を合わせて、すべて指定か一部指定で括弧、長袖・長ズボンくらいにして、おく形でも同じような結果になるのかなと思いますけど、それはどう伝えましょうか。事務局の案でいくか、もしくは今の私の案でいくか、いかがでしょうか。特になければまとめさせて、体操着の方はまとめていった方が間に回答しづらい気がするので、問1ですべて指定、一部指定で長袖・長ズボン指定くらい。はい、お願いします。

委員：一部指定の中で、考えられる回答として、半ズボンは指定してもらっても別に構わないけど、半袖については指定されたくないっていう意見が出る可能性を私は感じます。なぜかという、多分、半袖も指定になると、白になりますよね。きっと。そうすると、白は夏場に女の子が嫌だっていうのは出ると思うので、半ズボンを指定してくれるのは構わないけど、上は指定してくれるなっていう意見はあるんじゃないかなと思いました。その場合は買えばいいじゃんっていう気はするんですけど、ちょっとそこ気になりました。以上です。

委員長：はい。事務局の案でいく形でもいいのかな。わかりました。あと、私の方で気になったところといえば、体操着で長袖・長ズボン指定、制服で言えばブレザー指定と、特に説明もなく指定しますっていうふうに、アンケートで急になっているので、若干唐突感があるかなと思ってますので、説明文の中にでもですね、委員会の中で議論したり学校とも調整して、一体感とかそういったところからですね、この部分を指定した上でのアンケートとなります、みたいな一文を言っていた方が親切かなと思います。その辺は事務局側で少しそこのフォローは、説明文に入れて欲しいなと思

ったところでは。あと、もう少し議論させてもらいたいなと思ってるのは、すべて指定の回答が多かった場合に、次の議論するときどういうふうに議論するのか、一部指定が選ばれたときに、どういうふうに今後議論するかみたいところを少し考えた上でアンケートを見直す部分があれば、見直せばいいのかなと思ってるんですけども、その辺何かご意見お気づきの点とかあればと思いますけども、皆様いかがでしょうか。当然アンケートしてから、どこに集まるかで、その後、議論するので全然構わないと思います。はい、お願いします。

委員：すべて指定になった場合は、やっぱり先ほどもご指摘あったように、経済的な負担がすごく大きくなるっていうのがあるので、学森を含め、早急に制服リユースの取り組みを始めるっていう救済措置があってもいいのかなと私は思います。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。はい、お願いします。

委員：はい。すべて指定が多くなった場合、制服を作りたいっていうニーズが多かった場合であっても、じゃあ幾らにするのっていうところって、さっき事務局がおっしゃっていた金額だと学森と同じぐらいの6万、全部そろえて10万ぐらいですよ。さっきのお話だと、就学援助制度があるから大丈夫でしょってお話にあるんですけども、実際それ、全国的な今の世の中の問題にもなってますけど、そういう補助が所得制限で引っかかってしまって、もらえないけれども、それでもすごく経済的負担あるんだよっていうご家庭ってたくさんあると思うんですよ。だから、そういう意味でも折衷案、全部指定だけでもやっぱり一部指定とか、色だけ合えばいいよねとかですか、そういうのを混在してうまく購入できるどの家庭でも何かうまくできるような、形に持っていけたらいいなと思っています。

委員長：はい、お願いします。

委員：先ほど出たリユースについてなんですけども、まだ正式な決定ではない

んですが、今、PTA の本部役員さんから、制服のリユースについて販売会
というか譲渡会というか、そういったものを計画したいという案は出てお
ります。新しい学校でもそのようなことができていれば、経済的な負担だ
とか、幾分かは和らげることができるのかなと考えてます。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。私も春日で何かそういう動きがある
という情報は掴んでおりますので、ぜひ学森の方々が、来年役員やる方が、
何か5月以降そういう動きをしてもらえるのはありがたいなと思います
し、その辺の経験ができてくればですね新設校の方もうまく、誰がやるの
かといったところは、当然議論のところになるかと思えますけども、そう
いったところはあるのかなと、あとは少し前にテレビとかで、とある地域
だと、そういったところをですね、民間の制服販売業者とかがやってるよ
うなところも地域的にあるみたいなんですよね。つくばの学校もぜひ、生
徒数が多いようなところなのでそういったところをですね、どこかの販売
会社ですね、そういったところやってくれるとありがたいなとかって思
うんですけども、こういうのを、誰からそういう会社にお問い合わせするの
かかっていったところあるかもしれませんが、そういったところがあるとい
いのかなと思ったりするところではあります。私の個人的な意見ですけども、
もしすべて指定が良いっていうニーズが多くて、問4で、最も重視する
ところで価格というようなところが、また、複数回答が多かった場合、さ
っき言ったところなんですけども、すべての指定を作るんですけども、ズ
ボンとかはある程度選んでいいというようなことをすればですね、おそ
らくブレザーだけ買う形になるので、予算は減っていくと思うんですよ
ね。そこら辺が折衷案になるのかなと思いますので、アンケートの結果を
見ながら、次の委員会以降でその辺は議論してですね、ある程度方向性
が見えていくといいのかなと、今までお話を伺っていて思った次第です。
この点を含めて何か追加の意見とかあればと思いますけども、いかが
でしょうか。はい、

お願いします。

委員：はい。さっきの意見に賛成です。それとは別でこのアンケートで、春日みたいにスラックスとかは色指定だけがいいなっていうご家庭は、問2ではどこチェックしてその色指定っていうのを表現したらいいかなと思ったんですけど、一部指定にするっていうことはそれは、決められたものを買う、購入してくださいねっていうことなので、だから一部指定にチェックしないってことですよね。もし色指定がいいな、緩やかな形、色だけを指定したいなっていう場合はその辺のニーズと回答をしていただければいいと思います。

委員長：そうですね、おそらく今、このニーズがあった場合には、自由回答のところに意見が入る形なんですかね。

委員：だから、何か指定して欲しいっていうふうに答えた人の中に濃淡できちゃうっていうのがちょっと後で回答を集計するときに大変かなって思うので、何か、なしとか、選択肢を増やして書く相手について、色指定みたいな、緩やかなっていうのを書いてもいいのかなと思いました。以上です。

委員長：どうでしょうかね。あまりアンケートを複雑にすると、集計が難しいので、どうでしょうか。事務局の方々が集計とかの作業も踏まえて、そういうニーズがあるところをどっかで回答してもらえるようなフォローとか、自由回答のところで例えば、色使いとかデザインとかっていうことあれば、自由に回答くださいみたいなコメントを入れる。で、そこに来たら次の委員会で考えるときの素材として考えるとかですね。そんな形で、いいか、もしくはもう少し票数を見るために、問2に入れるか、その辺、何かいい案とかあれば、ご提案いただければと思いますけど、どうですか。

事務局：今すぐこの場でいい案というところをご提示できないところが恐縮なんですけども、今いただいた意見ですとか他の皆さんが言っていた意見を拾えるような形で、かつ集計をとるところはあるんですけども、考えさ

せていただきたいと思います。とりあえず週明けから、アンケートのスタートを予定してるんですけども、急ぎですね、こちらの方でそういった素案のところを考えさせていただいて、また皆さんの方にご提示させていただいて、ご意見等賜ればと思います。

委員長：はい、ありがとうございます。大分固まってきたのかなというふうに思っていますけども、他何か、設問のところの内容と聞き方について、ご意見ありますでしょうか。はい、お願いします。

委員：最初のところなんですけど、1ページ目のところで、結構細かく住所を聞いてるんですけどそれは、どうしてでしょうか。聞かなくてもいいんじゃないかなというのが私の意見です。

事務局：事務局です。元々、住所を入れさせていただいた経緯としてはこれまでの委員会の中で、委員さんから、ある程度回答者の属性は聞いておいた方がいいですとか、あと保護者の方から作っていただいた素案の方にも、聞き方も違えど、新しい学校に行くか、行かないかといったところの設問もございましたので、その聞き方を変えて入れさせていただいています。その部分はですね、住所のところは今の学園の森の通学区域のご住所と、新しくできる学校の、まだ確定ではないんですけども、通学区域案の住所のところを記載させていただいております。はい。そういったところで細かくさせていただいている経緯がございます。

委員長：アンケートの票数が拮抗した時とかに対して、こちらに通ってる人の割合が少し多いとか、もしくは制服のことをよく知ってる、7年・8年・9年生とかっていう人の意見がどうなってるとか、その辺が割れた時に細かく見るために補足で聞くような形ですし、回答する側も、そこまで手間ではないので、聞いておく分にはそこまで何もないのでいいのかなというふうに思ってますので、事務局からあった通り、このままでいいのかなと思いますけども、よろしいですかね。

委員：ちゃんとクロス集計出してくださるんだったら聞く価値があるなと思いました。大丈夫です。ありがとうございます。

委員長：クロスもがつつりじゃなくて、ほどほどで全然構いませんので無理のない範囲で、事務局の方で対応いただけると思います。はい。お願いします。

委員：先ほど、体操服の話をどのように記載されているのかっていう話をしていた時に、確か指定品または、前の学校のものも可能とおっしゃっていたかと思うんですけども、制服も指定品または前の学校のを着用してもよろしいのでしょうか。

委員：はい。制服も前の学校のもの着用は全然 OK です。卒業式でも、前の学校の制服で卒業式をした生徒もおりました。はい以上です。

委員：ありがとうございます。それであれば、例えばなんですけど、中学3年生ぐらいになって、制服がきつくなって新しいものを購入しなきゃいけないってなった時期に、市販の、わざわざ数万もするものを買わないで、代用して、最後の1年間終わるとかそういう、対応っていうのも可能なんではないでしょうか。

委員長：なかなか難しいと思いますけども、はい、お願いします。

委員：今までの中学校経験で言うと、そのような相談は受けたことはないです。ご家庭の協力で、次買う時に少し大きめのものを買って、対応していただいているとか、だからその時、買うときには少しぶかぶかな状態ではあるんですけども、先を見越して買っていたらご家庭が多かったのと、あと先ほど出たリユースで対応していたっていうこともありましたので、その辺りはご心配いただかなくても、大丈夫なのかなと。今までの私の経験だけですけども、対応はできていたかなというふうに思います。以上です。

委員：わかりました。ありがとうございます。

委員長：今おっしゃったのは多分、中学2年とか3年で転校してきた場合に、

そのまま卒業式を迎えるときはっていうことだと思いますので、そういったのは、しょうがないのかなというふうに思いますね。他何か気になる点とかありますでしょうか。大体、意見は出尽くした感じでしょうか。設問についてもいろいろご意見いただいて、修正のイメージも大分掴めたのかなというふうに思っておりますけども、ちょっとした修正も含めて、事務局の方、何か修正に向けて確認しておきたいこととか、わかりにくいところとかあれば、ここで聞いておいていただければと思いますけども、いかがでしょうか。

事務局：事務局です。先ほどのカラー指定のみとか、そういったところは、一つの選択肢の項目として入れるのか、それとも自由記述のような欄を設けさせていただいて、そちらの方に記載していただくか、こちらどのような形で進めたらよろしいでしょうか。

委員長：その辺はどういう聞き方が、今後の委員会で決めるときに、判断しやすいですかね。

委員：自由記載、他の学校でアンケートを取ったのが丁度インターネットにあって、自由欄が多かったやつはすごいコメント数でなかなか、事務局がまとめるのも大変ですし、それを見た上で私たちもこういうアンケートが来たところでどう判断したらいいんだらうって。パッと見て思ったので、自由記載欄っていうのは1ヶ所ぐらいでいいのかなと思ったりするので、どうなんですかね。色指定っていうところ、特に書かなくて、なしだけのままだでもいいんでしょうか。事務局が作ってくださった形で1回やってみてもいいのかなとも思いました。

委員長：はい、ありがとうございます。基本的には事務局の今の案で行かしていただくとして、今回のアンケート取った後で、例えば、すべて指定になったらカラーを何案かコンペの会社から上がってくるんですかね。そこでまた、必要に応じて、サンプルでアンケート取るとかですね、そんな形で

カラーのところとかは、議論とかの余地があるのかもしれないので、そこでまた改めて議論する形で大丈夫ですかね。じゃあ事務局の方々、最終的には当初案に戻りますが、今の形でお願いできればと思いますので、よろしくをお願いします。他何か最終確認したいことあれば、事務局の方からお願いできればと思います。はい、お願いします。

委員：先ほど学森の制服・体操服の規則について、決まってる部分があるという話ですが、具体的な規則の参照元というのは、学森の開校準備委員会の方で、平成30年1月17日に決めさせてもらった学園の森の制服・体操服の規則というものが元になっていますでしょうか。その辺確認できたら、もし可能でしたら教えてください。

委員：はい。先ほどご説明させていただいたものについては、職員の中で、共通理解事項というもので毎年年度初めに、職員の中で共通理解をしている資料の中の記載にあるものです。

委員：ありがとうございます。私の方でも制服、学森の準備の時にどのようなをやったかなと思って、いろいろ紐解いていたら、A4の1枚版で、制服・体操服について、学園の森で、新調する場合はこう、春日から、または学区外から転入する場合にはこうっていう、かなり具体的にどこまで認めるかも含めて、書かれた資料があって、もしそちらの資料が、もし皆さんのお手元がない、今まで見たことがないような状態でしたら、これ今のお話の一つの参考資料になるかと思いますので、共有できたら有意義かなと思ったんですが、事務局の方で、学森の開校準備委員会の時に決めた制服・体操服の規則の資料って共有できる状態であるでしょうか。

事務局：事務局です。こちらの方でも確認させていただいてもよろしいでしょうか。回答はまた後日でも大丈夫ですか。

委員：お願いします。こちらの方にかなり具体的に書いてあって、皆さんの検討議論の参考になるかと思った次第です。ご紹介させていただきました。以

上です。

委員長：ありがとうございます。あとせつかくなんで学森の方でも、規約の文書みたいなものがあるようであれば、それを、事務局の方にご提出いただいて、次回以降の委員会で、アンケートの結果を踏まえて規則みたいなものは、ある程度、この委員会でもまとめていかないといけないと思いますので、その辺を参考にさせていただければと思いますので、よろしく願います。それじゃ、アンケートの内容につきまして最後に事務局の方から、最後確認したいことあれば願います。

事務局：事務局の方からはございません。

委員長：概ね事務局の案に従って、あと微修正いただいて実行に入っていくという形で進めていくということですが、あとアンケートの対象は、今までは、子供と保護者それぞれで回答していただいたかと思いますが、今回はやっぱり子供だけとか、保護者だけだとなかなか難しい部分もあるので、各家庭でしっかり考えていただいて、代表して保護者からの回答一つということをご提案いただいておりますし、アンケートは4月26から5月2日ということでゴールデンウィークではあるんですが、この辺で聞くのが本当にいいのか、期限的に仕方がないのかとかっていうところもありますけども、この辺について何かご意見とかありますでしょうか。特段この点は、事務局の提案で皆さん大丈夫ということでよろしいですかね。はい、じゃあ議題にも今までご意見いただいた形で進めていただくという形で、概ね固まったかと思いますが、これで終了にしたいと思います。事務局にお戻ししたいと思いますので、よろしく願います。

事務局：事務局です。委員長ここまで進行いただきましてありがとうございます。学校さんにもご相談なんですけども来週からこのアンケート開始ということで、保護者さんの方に学校を通じて通知文のようなお渡ししていただくような形になるんですけども、こちらの方、月曜日に印刷をして

火曜日に児童を介して保護者さんに行き渡るようなスケジュールで大丈夫でしょうか。

委員：大丈夫です。

事務局：はい、ありがとうございます。そのような形で早々に準備をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。あとまた最初の校章の方ですね、こちらの方は事務局の方から、デザインをしていただいた方に補正の部分、ご依頼をさせていただいて、どの程度かかるかというところは、デザイナーさんをご相談させていただくんですけれども、出来次第、委員の皆様は次回の委員会ですとか、そういったところでご提示をさせていただきたいと思います。また次回の委員会のところですね、今のスケジュール等を踏まえて、委員長を介しまして皆さんとご相談させていただいて、決めさせていただきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いたします。最後に何か委員の皆様からございましたら、ご意見いただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。はい、お願いたします。

委員：はい。今日の議題とは全く違うんですけども、以前いただいた資料の中で保護者説明会でいただいた質問に対して、市が回答していた一覧があったと思うんですけども、あの中で新しい学校は、中学校が2クラスということで部活動の活動がきちんとできるのかっていう質問に対する事務局の答えが、部活動につきましては開校準備委員会等で検討することに加えて書いてあるんですけども、私たちの委員会で何か検討するものってのはあるんでしょうか。

事務局：部活動については、今の学園の森の部活動とそれから新しい学校との新しい学校で部活動を開放していくことになるっていうことの議論をしていくことになると思うんですが、あとは、部活動の大会の参加とかですね、例えば、部活動のチーム人数に満たない場合に、大会参加できるかどうかとか、その辺の議論は、市でもこれから進めていくところがございますの

で、そういったことも踏まえて、ご意見をいただくとか、あとはどういった部活動を、今の存在している部活動と同じにするのか等、そういった議論をいずれ議論していただくってということなのかなと思っております。

委員：はい、わかりました。ありがとうございます。

事務局：その他ございますでしょうか。大丈夫でしょうか。はい、お願いします。

委員：新設校準備委員会のメンバー追加募集についてお伺いいたします。こちらの管轄は学森のPTAの方なんでしょうか。事務局の方ですか。

委員長：PTA本部役員の方をお願いして、そちらから保護者の皆様にご連絡をして、募集開始をさせていただいてるような状況です。

委員：22日が締め切りになっていますが、そちらの選考はPTAですか。

委員長：PTAから応募のリストをもらって、この委員のメンバーの中で人数が多い場合は選考させていただくのがいいのかなとは私としては考えているところです。

委員：そうなんですね。以前お伝えしましたが、推薦したい方がいらっしゃって、すでにもう応募をされているんですが、今何人ぐらいいるとかはわからないと思うんですが、それは誰が決めるとかあるんですか。特に決まりはないと思うので、皆さんで議論して。この委員会で決められるということですか。

委員長：はい。事務局の方どうしますか。委員会で決めるのか、保護者の中で決めていいのかとか、その辺は何かありますでしょうか。

事務局：事務局としては委員長はじめ、保護者の委員の方でお決めいただければと思いますので、はい。よろしくお伺いいたします。

委員：わかりました。ありがとうございます。よろしくお伺いいたします。

委員長：終わったらですね、PTAからリストをもらいますので、個人情報を含めた上で、所在地とか、お子様の学年とかのリストの中で、今のメンバー

の中で少ないエリアに住んでる方とか、お子様の学年が、足りてないところらへんから、優先的に選ぶのがいいのかなとは個人的に思ってます。その辺で皆様と相談して決めていければと思いますのでよろしくお願ひします。

事務局：ありがとうございました。その他ございますでしょうか。はい、願ひいたします。

委員：事務局の方で把握してる範囲で結構なんですけど、今の学区、新設校の開校準備のスケジュール、例えば、校舎の建設ですとかその辺で予定と比べて、進捗がどういう状況か、大きなブレがないかとか今後の予定において何か危惧する点がないかどうかとか、昨今の世界情勢もありますのでその辺で何か動き等、情報がありましたら教えてください。以上です。

事務局：学校の建設状況ですが、今のところ、当初の予定通り進んでおります。今、中学校の方は、3階の床のところまで進んでおりまして、体育館の柱までできております。あと小学校が若干遅れてるといいますか、2階の床を作ってるような状況です。工事としては、道路から奥側から工事を進めていきますので、流れとしては今のところ予定通りという形で、業者からは聞いております。以上です。

委員：ありがとうございます。他、工事以外のいろんな予定についても、以前いただいたような大まかな予定通りという認識でよろしいでしょうか。

事務局：はい、事務局です。以前お示しさせていただいたようなスケジュール通り進めている状況ですので、特段の問題はないかと思っております。

委員：わかりました。ありがとうございます。

事務局：その他皆様から何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。はい。本日は長時間にわたり、ありがとうございました。以上をもちまして第7回（仮称）研究学園小学校、中学校開校準備委員会を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

4 閉会